



社会福祉法人 御前崎厚生会
特別養護老人ホーム 灯光園
電話 (0548)63-3729(代表)
FAX 63-4131
灯光園デイサービスセンター
63-6002
灯光園在宅介護支援センター
63-5116
灯光園居宅介護支援事業所
63-5115



五月に

施設長 澤島 久美子

今年の春は灯光園の庭にたくさんのお花を咲かせることができました。梅から始まり、御前崎では今年もよく見かけた赤いきれいなツルコザクラがたくさん咲きました。スイトピーもいろいろな色がきれいです。地面に近いところで咲くすずらんやクリスマスローズに気がついてくれる方もいます。自分の家に住んでいた頃は、きつと庭いじりが好きだったのではないかな？

寒い冬から抜け出した途端に、大勢の入居者が毎日散歩に出ってきます。職員も車椅子を押しながら、あれこれおしゃべりしながら気持ちのいい空気を吸って、花を見て楽しんでもらおうと、行ったり来たりしています。夏の野菜の苗も植えました。

気候の良いときにたくさん外に出ていただき、風を感じて、空を眺めて、生きてる感を溢れさせてほしいと思います。

ユニットケアのハード

施設長 澤島久美子

ユニットケアをめざす灯光園は、平成一七年一二月に着工し、一八年一二月に完成しました。

その間に何度か現場の事務所に呼ばれて、建設途中の施設にヘルメットをかぶって入れてもらいました。大きなコンクリートの塊のようだと思いました。土を深く掘り基礎が打たれていました。鉄筋があちこちにめぐり、型枠で囲まれ、コンクリートを流し込んでいました。



建設の前には設計があり、設計士の人はいろいろなことを私たちに聞いてくれました。ユニットの台所のデザインや、入居者の部屋の組み合わせ方、入口のドアやトイレの形など、細かいことまで聞いてくれ、その都度いろいろなことを考えました。建設が進むと、窓ガラスが嵌められ、庭石が並び、玄関からきれいな赤いエレベーターが見えました。

お年寄りが住む「家」にこだわり、入居者が自分の住む家を自慢できたらいいなと思いましたが、手すりについては、施設つぼさをなくしたくて、つけない方向で頭を絞りました。歩行の用具さえしつかりあれば手すりがなくても歩くことができます。病院のように見えることを避けたくて、杖や歩行器などの準備をすることとして、手すりはつけませんでした。

八つのユニットの玄関のドアは木でつくられた感じのいいドアでした。入ると靴箱もがっち



りと収まっています。その時は素敵だと思いましたが、ユニットを一軒の家として考えると失敗でした。隣の家の玄関と自分の家の玄関はドアにしても、靴箱にしても違っていて当たり前です。和風だったり洋風だったり。植木や花がいっぱい飾ってあったり、置物を置いたり、絵を飾ったり、住む人の好みが見えます。入居者に自分の家と意識してもらえよう、公民館のようだと言われた靴箱は撤去し、それぞれ違うスリッパ立てや靴箱を置きました。

ユニットケアの考え方に、プライベートとパブリックの考え方があります。自分の部屋、家族と過ごす居間、家から出た場所、大勢で集まる場所。だんだ

んと外に向いていきます。その雰囲気の違いを建物の設計でわかるようにするのは難しいことです。部屋は自分の家具などを持ち込んでもらい、好きなことができる自由で自分らしい空間にしてもらいます。地域交流ホールのようなみんなが集まる場所は、ちょっとおしゃれな家具を支度しました。

敷地が三角形なので、港棟と岬棟とはユニット全体の形が違います。一階と2階とでは見える景色が違い、居間の明るさも違います。部屋もその他の場所も窓を大きく取りました。2階から外を眺めるだけで時間を忘れる方もいます。光あふれる御前崎らしい施設ができました。



人と人を繋ぐ

灯光園デイサービスへ行くこう②
 灯光園デイサービスセンター
 介護士 松下由香里

灯光園デイサービスセンターではお喋りの声や笑い声があちらこちらから聞こえ朝から賑やかです。この賑やかさ騒々しさが自慢です。

親戚、兄弟姉妹、旧友等でご利用している方も多くいます。しかし、中にはここに来てから仲良くなったという方もいます。利用のたびに顔を合わせ、少しずつ言葉を交わし交流が広がっていきました。

先日、体調不良でお休みしていた方が久しぶりに利用を再開され、仲良くなった方と涙の再会を果たしました。近くでみていた職員ももらい泣きしてしまふほどでした。お一人はデイサービスで知り合い、デイサービスに来ることを心待ちにしてくれるようになりました。「デイに行けばあの人がいる。行っ

ておしゃべりができる。あの人も頑張っているで自分も頑張る。」と思うようになりました。良い刺激を受け、デイサービスでの活動も積極的に参加してくれるようになりました。

「相乗効果」とは、二つ以上のものがある事によってそのどちらも期待以上の成果を上げることです。お互いが刺激を受け触発され、個では発揮しない力を出し合う関係は相乗効果と言えるでしょう。

隣の人に繋がりと、またその隣の人に繋がりとプラスの輪が広がっています。良い雰囲気の中で一日を過ごし、安定した快い気持ちで家の生活を過ごす。デイサービスがご利用者の心の糧になっていると思うと嬉しいです。



中庭にこのほり。
ベランダからのながめが一番です。



あらさわ公園へ。
青空の下のお弁当は格別でした。



いつもは上がりにくい腕も夢中になるとホラこんなに上がります。



五月お料理クラブはもちろん柏餅です。みんなで百個程作りました。



Aコープへお買い物です。食べる楽しみの先に買う楽しみです。

平成28年度苦情

8件の苦情がありました。皆様から頂いた苦情をアドバイスと受け止めて今後に生かします。

①シヨートステイ利用後、他の利用者の記録が間違えて入っていた。

↓お渡しする記録について用紙を変更し、名前にマーカーをして間違いにくくする。

②シヨートステイ退所時にベルトの固定の方法が間違っていた。申し送りはしっかりとされているのか。

↓職員間の申し送り方法について確認をする。職員の異動の際は個人情報をしっかり把握するように、口頭でも説明をすることとした。

③シヨートの退所日前に迎える連絡が入る。退所の変更が職員間で連絡できていないのは困る。

↓変更については紙ベースとパソコンの両方をする。最終的な確認はパソコンとする。

④シヨート利用前に連絡をくれ

ると言われていたが連絡が来ない。

↓前日までに必ず連絡をする。相談員が不在の場合の対応を決める。

⑤デイサービス男性職員の対応が怖かった。

↓職員に厳重注意し、職員からも本人にお詫びをする。

⑥シヨート利用中の薬がすべて服薬されていなかった。

↓荷物チェック表に薬の欄を設ける。最新の薬示票をいただくようご家族にお願いする。

⑦デイサービス男性職員が入浴を希望しない利用者に腹を立て、乱暴な行為をした。

↓職員に厳重注意し、職員からも本人にお詫びをする。

⑧特養利用者家族より。灯光園からの郵便物の送付が遅く市への提出期限間近であった。

提出期限のあるものはしっかりと届けてほしい。郵便物の管理をしっかり行ってほしい。

↓郵便物・預かり書類等管理票を作って記入し漏れがないようにする。

編集後記

花盛りの庭を散歩しました。御年九九歳の方が「山吹だの」と言い「七重八重花は咲けども山吹の実のひとつだになきぞかなしき」と。すごいと言つと「学校で教えてくれた。」私は学んだかな？忘れたのかな？

ボランティア活動

～あいがとう～

灯光園

三月

○宮坂流やまぶきの会様

(傘踊り・歌他) 一回

四月

○乙坂 昇平 夫妻様

○大澤 晶子様

○小野田 薫様

(家族会喫茶演奏)

五月

○JAハイナン珍ドン隊

(ちんどん演奏)

○天翔 麗人様

(よさこい踊り他) 一回

○松下 肇様・岩堀 幸之様

(のこぎり演奏) 一回

四月

○川口 節子様

(絵手紙) 二回

○清水 ソノ子様

(カラオケ支援) 二十四回

○松下 肇様

(のこぎり演奏) 一回

○鈴木 喜夫様

(俳句教室) 一回

五月

○清水 ソノ子様

(カラオケ支援) 九回

灯光園デイサービス

三月

○川口 節子様

(絵手紙) 一回

○清水 ソノ子様

(カラオケ支援) 二十四回

(五月十日現在)

